



刊行イベントで語る
駒込武さん

台湾と沖縄 平和への道は

市民らの対話記録「帝国の狭間からの問い」刊行

編者・駒込さん 社会の「大國意識」指摘

中国が台湾に侵攻する「台湾有事」を念頭に、沖縄など南西諸島では米軍との連携も想定した自衛隊配備が進む。「一見、利害が対立する台湾と沖縄が共に平和である道はないのか」。困難なテーマを巡る、両地域の市民らの対話を記録した駒込武編「台湾と沖縄 帝国の狭間からの問い」（みすず書房）が刊行された。

2023年7月に京都大で開かれたシンポジウムを基にした論集。浮き彫りになるのは立場の違いだ。日米の抑止力に期待せざるを得ない台湾側と、台湾有事などを名目に軍事化が進み基地の負担に苦しむ沖縄側。「別々の現実」に直面する両者の議論は時にすれ

違ひ、緊張や分断もはらむ。しかし両地域に共通するのは、社会の自己決定権を求める問題意識だ。台湾の研究者、呉敏さんが望むのは、台湾人と同様に沖縄の人々の自己決定権も尊重されること。

沖縄県石垣市の陸上自衛隊配備の賛否を問う住民投票を求め署名を集めた宮良麻奈美さんは「沖縄にも台湾にも状況をコントロールできないことが、とても怖い」と語る。台湾出身で、京都大大学院で研究する張彩薇さんは「どこまでも、 の、日本の、中国の、そしてパワーゲームのなかでゲームをしている人たちの問題」と考える。

昨年11月に東京都内で開かれた刊行イベントで、編者の駒込さんは「はさま」の人々の権利が犠牲になって当然という、無意識の大國意識」が日本社会にないかと指摘。書籍の中国語訳と台湾での出版を目指すと言い「認識を深める、伝える活動が、戦争を防ぐ上で重要。地道な取り組みを続けるしかない」と語った。

上の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 傍線部とはどのような状況のことかを説明した次の文の空欄に、本文中から解答欄に合わせ、適語を抜き出して入れましょう

台湾は中国からの侵攻を防ぐため、の軍事力に期待せざるを得ないが、沖縄は軍事化が進むとに苦しむことになる状況。

2 台湾、沖縄両地域の人々が共通して求めているものは何ですか。本文中から8文字で抜き出しましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--

3 空欄に入る国名を書きましよう。

--

4 大国は、大国同士の主導権争いの中で、その間にある小さな国や地域の人々に対して、どんな考えを持つ恐れがあると言っていますか。次の文の空欄に、本文中から解答欄に合わせ、適語を抜き出して入れましょう。

--	--	--	--	--	--	--	--

大国は間にある小さな地域の人々に状況をを犠牲にしてもかまわないとさせる気はないし、人々のという考えを持っている恐れがある。

NIEワークシートのこたえ（2025年1月17日公開）

◆ワークシート「台湾と沖縄(社会)」
2025.1.16日付 夕刊 3面 解答

- 1 日米 基地の負担
- 2 社会の自己決定権
- 3 アメリカ(米国)
- 4 コントロール 権利